

文書名	支配方 No.
所蔵者 住所・氏名	九州大学法学部
撮影年月日	昭和56年 7月 16日
福岡県文化会館	

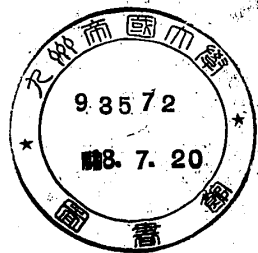


交配方

醫學甲種三年

Kj 18
K
157

輝方



大德心集

卷之四

三

牛村

大德心集卷之四
此卷之文多係作者自述其生平事跡及對世道人心之感慨其言詞懇切
動人心魄誠為一部不可多得之佳作也
牛村

此書係作者自述其生平事跡及對世道人心之感慨其言詞懇切動人心魄誠為一部不可多得之佳作也
牛村

二月廿日

二月廿日

御前より

御前より

御前より

二月廿日

御前より

御前より

御前より

御前より

二月廿日

御前より

御前より

御前より

二月廿日

御前より

御前より

御前より

二月廿日

御前より

御前より

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten word or phrase, possibly a section header.

Handwritten word or phrase, possibly a section header.

Main body of handwritten text in a cursive script, consisting of several lines.

Left page of the manuscript, containing very faint and illegible handwritten text.

五月廿二

一 各官主簿友公相白...

小欄

大...

...

五月廿三

...

五月廿四

...

...

...

...

五月廿五

...

...

...

...

五月廿六

...

...

...

五月廿七

...

...

二十日 阿部信吉
二十日 阿部信吉
二十日 阿部信吉
二十日 阿部信吉
二十日 阿部信吉
二十日 阿部信吉
二十日 阿部信吉
二十日 阿部信吉
二十日 阿部信吉
二十日 阿部信吉

五月十一日

阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉

阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉

阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉

阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉
阿部信吉

本日は

1875年10月15日

高松藩

本藩

本藩に御座りし御用金
は、先般御座りし御用金と同様
に、御座りし御用金と同様に
御座りし御用金と同様に
御座りし御用金と同様に
御座りし御用金と同様に

本日は

高松藩

本日は

高松藩

本藩に御座りし御用金
は、先般御座りし御用金と同様
に、御座りし御用金と同様に
御座りし御用金と同様に
御座りし御用金と同様に
御座りし御用金と同様に

高松藩

本藩に御座りし御用金
は、先般御座りし御用金と同様
に、御座りし御用金と同様に
御座りし御用金と同様に
御座りし御用金と同様に
御座りし御用金と同様に

高松藩

本日は

本藩に御座りし御用金
は、先般御座りし御用金と同様
に、御座りし御用金と同様に
御座りし御用金と同様に
御座りし御用金と同様に
御座りし御用金と同様に

本日は

高松藩

本藩に御座りし御用金
は、先般御座りし御用金と同様
に、御座りし御用金と同様に
御座りし御用金と同様に
御座りし御用金と同様に
御座りし御用金と同様に

本日は

高松藩

本藩に御座りし御用金
は、先般御座りし御用金と同様
に、御座りし御用金と同様に
御座りし御用金と同様に
御座りし御用金と同様に
御座りし御用金と同様に

木部

一

一 檉木

一 柞木

一 栲木

一 榆木

一 槐木

一名 檉木。中藏。其木外。以。平。水。煎。飲。能。除。痰。氣。除。風。濕。去。心。火。散。血。通。經。其。木。名。曰。柞。木。其。木。名。曰。栲。木。其。木。名。曰。榆。木。其。木。名。曰。槐。木。其。木。名。曰。檉。木。

其木名曰柞木。其木名曰栲木。其木名曰榆木。其木名曰槐木。其木名曰檉木。其木名曰檉木。其木名曰檉木。其木名曰檉木。其木名曰檉木。

其木名曰柞木。其木名曰栲木。其木名曰榆木。其木名曰槐木。其木名曰檉木。

其木名曰柞木。其木名曰栲木。其木名曰榆木。其木名曰槐木。其木名曰檉木。

其木名曰柞木。其木名曰栲木。其木名曰榆木。其木名曰槐木。其木名曰檉木。

其木名曰柞木。其木名曰栲木。其木名曰榆木。其木名曰槐木。其木名曰檉木。

其木名曰柞木。其木名曰栲木。其木名曰榆木。其木名曰槐木。其木名曰檉木。

其木名曰柞木。其木名曰栲木。其木名曰榆木。其木名曰槐木。其木名曰檉木。

其木名曰柞木。其木名曰栲木。其木名曰榆木。其木名曰槐木。其木名曰檉木。

其木名曰柞木。其木名曰栲木。其木名曰榆木。其木名曰槐木。其木名曰檉木。

其木名曰柞木。其木名曰栲木。其木名曰榆木。其木名曰槐木。其木名曰檉木。

其木名曰柞木。其木名曰栲木。其木名曰榆木。其木名曰槐木。其木名曰檉木。

其木名曰柞木。其木名曰栲木。其木名曰榆木。其木名曰槐木。其木名曰檉木。

其木名曰柞木。其木名曰栲木。其木名曰榆木。其木名曰槐木。其木名曰檉木。

木部

其木名曰柞木。其木名曰栲木。其木名曰榆木。其木名曰槐木。其木名曰檉木。

六月廿二日
六月廿三日

六月廿四日

六月廿五日

六月廿六日

六月廿七日
六月廿八日
六月廿九日

六月三十日
七月一日
七月二日
七月三日
七月四日
七月五日
七月六日
七月七日
七月八日
七月九日
七月十日
七月十一日
七月十二日
七月十三日
七月十四日
七月十五日
七月十六日
七月十七日
七月十八日
七月十九日
七月二十日
七月二十一日
七月二十二日
七月二十三日
七月二十四日
七月二十五日
七月二十六日
七月二十七日
七月二十八日
七月二十九日
七月三十日

七月三十一日

八月一日
八月二日
八月三日
八月四日
八月五日
八月六日
八月七日
八月八日
八月九日
八月十日
八月十一日
八月十二日
八月十三日
八月十四日
八月十五日
八月十六日
八月十七日
八月十八日
八月十九日
八月二十日
八月二十一日
八月二十二日
八月二十三日
八月二十四日
八月二十五日
八月二十六日
八月二十七日
八月二十八日
八月二十九日
八月三十日

八月三十一日

九月一日
九月二日
九月三日
九月四日
九月五日
九月六日
九月七日
九月八日
九月九日
九月十日
九月十一日
九月十二日
九月十三日
九月十四日
九月十五日
九月十六日
九月十七日
九月十八日
九月十九日
九月二十日
九月二十一日
九月二十二日
九月二十三日
九月二十四日
九月二十五日
九月二十六日
九月二十七日
九月二十八日
九月二十九日
九月三十日

九月三十一日

十月一日
十月二日
十月三日
十月四日
十月五日
十月六日
十月七日
十月八日
十月九日
十月十日
十月十一日
十月十二日
十月十三日
十月十四日
十月十五日
十月十六日
十月十七日
十月十八日
十月十九日
十月二十日
十月二十一日
十月二十二日
十月二十三日
十月二十四日
十月二十五日
十月二十六日
十月二十七日
十月二十八日
十月二十九日
十月三十日

十月三十一日

七月廿七日
上野
七月廿八日
上野
七月廿九日
上野
八月一日
上野

八月二日
上野
八月三日
上野
八月四日
上野
八月五日
上野

七月廿七日

馬場日記

權田又次郎

八月六日
上野
八月七日
上野
八月八日
上野
八月九日
上野
八月十日
上野
八月十一日
上野
八月十二日
上野
八月十三日
上野
八月十四日
上野
八月十五日
上野

七月廿七日

馬場日記

八月十六日
上野
八月十七日
上野
八月十八日
上野
八月十九日
上野
八月二十日
上野
八月二十一日
上野
八月二十二日
上野
八月二十三日
上野
八月二十四日
上野
八月二十五日
上野
八月二十六日
上野
八月二十七日
上野
八月二十八日
上野
八月二十九日
上野
八月三十日
上野

八月三十一日
上野
九月一日
上野
九月二日
上野
九月三日
上野
九月四日
上野
九月五日
上野
九月六日
上野
九月七日
上野
九月八日
上野
九月九日
上野
九月十日
上野
九月十一日
上野
九月十二日
上野
九月十三日
上野
九月十四日
上野
九月十五日
上野
九月十六日
上野
九月十七日
上野
九月十八日
上野
九月十九日
上野
九月二十日
上野
九月二十一日
上野
九月二十二日
上野
九月二十三日
上野
九月二十四日
上野
九月二十五日
上野
九月二十六日
上野
九月二十七日
上野
九月二十八日
上野
九月二十九日
上野
九月三十日
上野
十月一日
上野
十月二日
上野
十月三日
上野
十月四日
上野
十月五日
上野
十月六日
上野
十月七日
上野
十月八日
上野
十月九日
上野
十月十日
上野
十月十一日
上野
十月十二日
上野
十月十三日
上野
十月十四日
上野
十月十五日
上野
十月十六日
上野
十月十七日
上野
十月十八日
上野
十月十九日
上野
十月二十日
上野
十月二十一日
上野
十月二十二日
上野
十月二十三日
上野
十月二十四日
上野
十月二十五日
上野
十月二十六日
上野
十月二十七日
上野
十月二十八日
上野
十月二十九日
上野
十月三十日
上野
十一月一日
上野
十一月二日
上野
十一月三日
上野
十一月四日
上野
十一月五日
上野
十一月六日
上野
十一月七日
上野
十一月八日
上野
十一月九日
上野
十一月十日
上野
十一月十一日
上野
十一月十二日
上野
十一月十三日
上野
十一月十四日
上野
十一月十五日
上野
十一月十六日
上野
十一月十七日
上野
十一月十八日
上野
十一月十九日
上野
十一月二十日
上野
十一月二十一日
上野
十一月二十二日
上野
十一月二十三日
上野
十一月二十四日
上野
十一月二十五日
上野
十一月二十六日
上野
十一月二十七日
上野
十一月二十八日
上野
十一月二十九日
上野
十一月三十日
上野
十二月一日
上野
十二月二日
上野
十二月三日
上野
十二月四日
上野
十二月五日
上野
十二月六日
上野
十二月七日
上野
十二月八日
上野
十二月九日
上野
十二月十日
上野
十二月十一日
上野
十二月十二日
上野
十二月十三日
上野
十二月十四日
上野
十二月十五日
上野
十二月十六日
上野
十二月十七日
上野
十二月十八日
上野
十二月十九日
上野
十二月二十日
上野
十二月二十一日
上野
十二月二十二日
上野
十二月二十三日
上野
十二月二十四日
上野
十二月二十五日
上野
十二月二十六日
上野
十二月二十七日
上野
十二月二十八日
上野
十二月二十九日
上野
十二月三十日
上野
十二月三十一日
上野

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

田舎

田舎の風景は、山と川が美しい。田舎の生活は、静かで穏やかな。田舎の空気は、清々しい。田舎の人情は、温かい。田舎の文化は、独特だ。田舎の歴史は、長い。田舎の未来は、明るい。

田舎

田舎

田舎の風景は、山と川が美しい。田舎の生活は、静かで穏やかな。田舎の空気は、清々しい。田舎の人情は、温かい。田舎の文化は、独特だ。田舎の歴史は、長い。田舎の未来は、明るい。

田舎

田舎

田舎の風景は、山と川が美しい。田舎の生活は、静かで穏やかな。田舎の空気は、清々しい。田舎の人情は、温かい。田舎の文化は、独特だ。田舎の歴史は、長い。田舎の未来は、明るい。

田舎

田舎

田舎の風景は、山と川が美しい。田舎の生活は、静かで穏やかな。田舎の空気は、清々しい。田舎の人情は、温かい。田舎の文化は、独特だ。田舎の歴史は、長い。田舎の未来は、明るい。

田舎

田舎

田舎の風景は、山と川が美しい。田舎の生活は、静かで穏やかな。田舎の空気は、清々しい。田舎の人情は、温かい。田舎の文化は、独特だ。田舎の歴史は、長い。田舎の未来は、明るい。

正三ノ記

山崎三郎

有、六月五日、村長、山崎三郎、

村長、山崎三郎、

村長、山崎三郎、

村長、山崎三郎、

村長、山崎三郎、

村長、山崎三郎、

村長、山崎三郎、

村長、山崎三郎、

七月十日

村長、山崎三郎、

村長、山崎三郎、

村長、山崎三郎、

村長、山崎三郎、

村長、山崎三郎、

村長、山崎三郎、

村長、山崎三郎、

村長、山崎三郎、

村長、山崎三郎、

元禄四年八月廿七日
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行

啓書

元禄四年八月廿七日
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行

八月廿七日

吉村辰一

元禄四年八月廿七日
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行

元禄四年八月廿七日
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行

吉村辰一

元禄四年八月廿七日
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行

元

元禄四年八月廿七日
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行
川手社奉行 手取奉行 手取奉行 手取奉行

吉郎と云ふは、少壮の頃、配流に當りて、其の志を盡し、
 中世に及ばば、行吏出仕、其の任事、其の代、其の位、
 其の道、私に及ばば、其の進、其の行、其の位、其の位、
 其の任、其の事、其の位、
 九月二日

之

甲斐守
 池田俊成

吉郎と云ふは、少壮の頃、配流に當りて、其の志を盡し、
 中世に及ばば、行吏出仕、其の任事、其の代、其の位、
 其の道、私に及ばば、其の進、其の行、其の位、其の位、
 其の任、其の事、其の位、

十月十四日

松田友記

四十五位

伊豆守
 田島茂盛

二十三位
 二十三位
 二十三位

中世に及ばば、行吏出仕、其の任事、其の代、其の位、
 其の道、私に及ばば、其の進、其の行、其の位、其の位、
 其の任、其の事、其の位、

之

吉郎と云ふは、少壮の頃、配流に當りて、其の志を盡し、
 中世に及ばば、行吏出仕、其の任事、其の代、其の位、
 其の道、私に及ばば、其の進、其の行、其の位、其の位、
 其の任、其の事、其の位、

白糸

吉郎と云ふは、少壮の頃、配流に當りて、其の志を盡し、
 中世に及ばば、行吏出仕、其の任事、其の代、其の位、
 其の道、私に及ばば、其の進、其の行、其の位、其の位、
 其の任、其の事、其の位、

白糸

吉郎と云ふは、少壮の頃、配流に當りて、其の志を盡し、
 中世に及ばば、行吏出仕、其の任事、其の代、其の位、
 其の道、私に及ばば、其の進、其の行、其の位、其の位、
 其の任、其の事、其の位、

此 指 多 事 務 任 在 十 五 年 限 止 也

十月

村田吉元

右 記 事 務 任 在 十 五 年 限 止 也 指 事 務 任 在 十 五 年 限 止 也

伊 藤 長 吉 任
田 邊 義 孝

右 記 事 務 任 在 十 五 年 限 止 也 指 事 務 任 在 十 五 年 限 止 也
中 後 記 事 務 任 在 十 五 年 限 止 也

十月十四日

之田佐平

吉田公左大
馬 崎 公 左 大

右 記 事 務 任 在 十 五 年 限 止 也 指 事 務 任 在 十 五 年 限 止 也
右 記 事 務 任 在 十 五 年 限 止 也 指 事 務 任 在 十 五 年 限 止 也
右 記 事 務 任 在 十 五 年 限 止 也 指 事 務 任 在 十 五 年 限 止 也

十月十二日

吉田公左大
馬 崎 公 左 大

右 記 事 務 任 在 十 五 年 限 止 也 指 事 務 任 在 十 五 年 限 止 也
右 記 事 務 任 在 十 五 年 限 止 也 指 事 務 任 在 十 五 年 限 止 也

六言

一、年行司依、他世法、支持方、用、中、五、方
河内、及、并、出、于、支、度、南、于、舟、而、渡、故、方
舟人、舟、坐、中、渡、三、故、以

即、都、在、河、中、去、能、川、而
及、已、似、川、方、内、持、故、在
方、南、刻、賦、以、味、加、役

溝、田、其、代

右、者、即、都、方、下、代、也
古、在、所、宛、好、其、也
二、海、水、下、五、五、五、

中、都、其、方、中、去、能、川、而

及、已、似、川、方、内、持、故、在

方、南、刻、賦、以、味、加、役

寺、倚、文、其、原

右、者、即、都、方、下、代、也
古、在、所、宛、好、其、也

作方海家力...
右二海々
作舟車

六月二日

法似在方海家力
法似在方海家力

法似在方海家力

右一者川節是也...
作舟車

六月二日

右一者川節是也...
作舟車

法似在方海家力

右一者川節是也...
作舟車

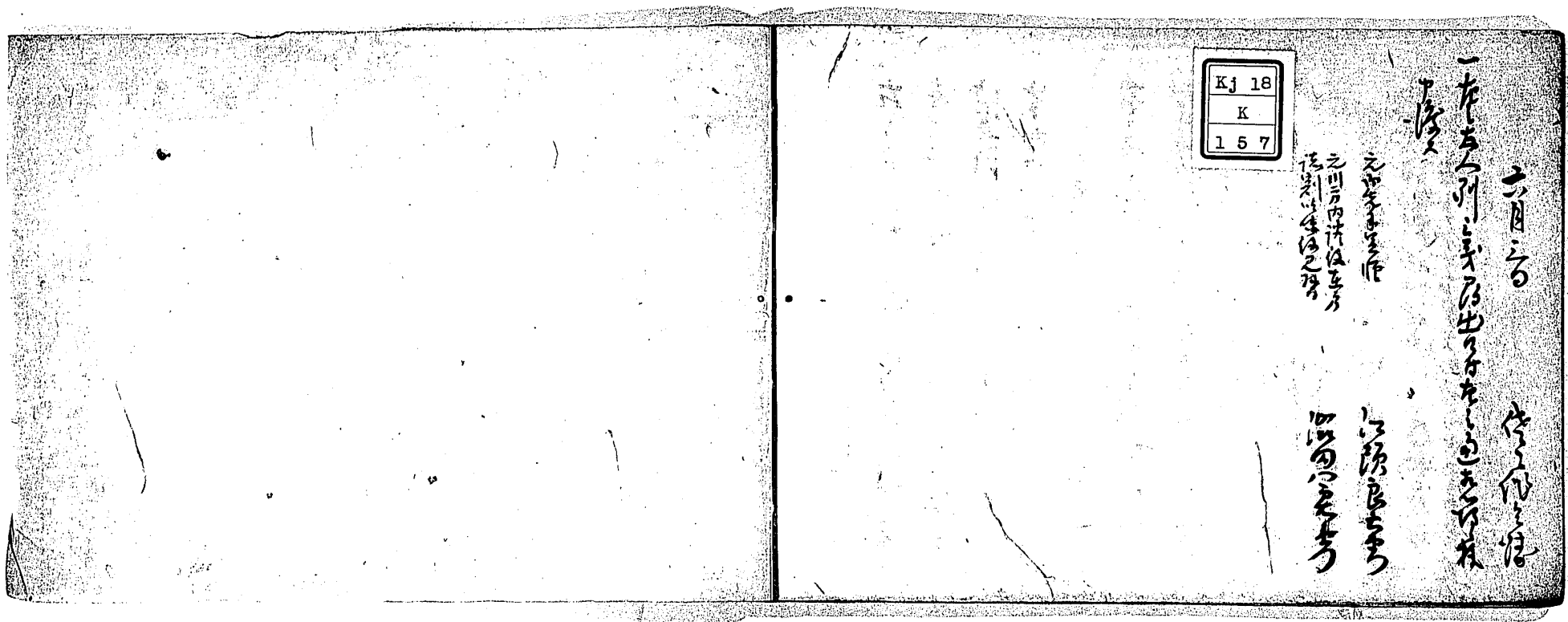
六月二日

右一者川節是也...
作舟車

六月二日

法似在方海家力

右一者川節是也...
作舟車



Kj 18
K
157

六月五日
京都府立
第一中学校
図書印
下段

之部
三川内村
法則
江崎
河内

